

"遺産を残す"

Pastor Ernest Chow アーニー・チョウ牧師

ファースト・アッセンブリー・オブ・ゴッドに28年以上在籍し、同教会で宣教監督と長老を務める。彼と彼の妻の Pastor Siew Peng シュー・ペン牧師は、アフリカ、ロンドン、インド、アイルランド、ブラジル、フィリピン、メキシコなどに派遣された18の教会開拓チームを育て、訓練してきました。また、5つの教会開拓チームを育て、横浜、大阪、東北の釜石、沖縄、広島 of 庄原に派遣した。夫妻で66年以上の伝道経験がある。神は彼らを世界の国々に宣教し、宣教師と牧師を育てるように召された。

詩篇2篇8節

「わたしに求めよ、わたしはもろもろの国を 嗣業としておまえに与え、地のはてまでもおまえの所有として与える。」

はじめに

神は、ファースト・アッセンブリー・オブ・ゴッドに、人々に福音を伝えるという預言的な使命を与えられました。

私たちは宣教の教会であり、世界に宣教するという召命とビジョンを持っています。

私たちが生まれた時から、宣教は私たちの血とDNAの中にありました。

1947年、ミズーリ州スプリングフィールドにあるアッセンブリーズ・オブ・ゴッド本部が、私たちの創立者であるエルドン・ヴィンセント牧師とその妻ワニタを派遣しました。彼らはハワイを海外宣教地と考えました。

神は私たちに召されました、

私たちは霊的な息子や娘を育てて、宣教教会を建て、国や民族を所有するように召されています。

伝道教会とは、伝道の心とビジョンを持って教会を建てる教会のことです。

1.失われた人々、救われていない人々、主を知らない人々に手を差し伸べ、教え、弟子とする。

その国に届くために：

1.国(ネーション)

(具体的な民族・集団と文化)

2.国(カントリー)

その国家が所在する地理的地域または領土

I. 今朝は、「霊的な遺産を残す」ということについてお話ししたいと思います。

「遺産」の辞書的定義はこうです：

遺産、生得権、寄付、備え。遺言によって遺されたもの、特定のもの、一定の金額、価値のあるもの、個人的な財産。

贈与／相続

先祖や前任者から譲り受けたもの。

例

「良き助言と神の模範は、父親が子供たちに残せる最高の遺産である。」

箴言 13 章 22 節

「善良な人はその嗣業を子孫にのこす」

箴言は、私たちは子供たちの子供たちに遺産を残すべきだと言います。

霊的遺産は世代的なものである。ある世代から別の世代へと受け継がれる。

その霊的遺産は世代から世代へと永続し、増し加わり続けるものでなければならないのです。

II. 悔い改めへの呼びかけ

1 ペテロ 2 章 1 節-3 節

「だから、あらゆる悪意、あらゆる偽り、偽善、そねみ、いっさいの悪口を捨てて、今生れたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。それによっておい育ち、救いに入るようになるためである。あなたがたは、主が恵み深いかたであることを、すでに味わい知ったはずである。」

私たちが国家に思いを届けるために、そこには霊的なきよめが必要です。

そうすれば、救いのうちに成長し、主のいつくしみを味わうことができます。

私たちが国民を弟子にするときに。

III. 聖さへの呼びかけ

1 ペテロ 2 章 9-10 節

「しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。あなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。」

私たちは選ばれた民

エペソ 1 章 4-5 節

「みまえにきよく傷のない者となるようにと、天地の造られる前から、キリストにあってわたしたちを選び、わたしたちに、イエス・キリストによって神の子たる身分を授けるようにと、御旨のよしとするとところに従い、愛のうちにあらかじめ定めて下さったのである。」

私たちは暗闇の人生から呼び出され、世界のための神の光として遣わされています。

教会は

王家の祭司職／霊的な祭司

聖なる国民／それは文化／主の御心を行うために取り分けられた人々の集まり

1 ペテロ 2 章 9 節後半 「暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。」

私たちは暗闇の生活から呼び出され、主の救いの光の中を歩み、生きる時、

私たちは異なる、新たな人生と文化へと召し出されたのです。

1 ペテロ 2 章 11-12 節

「愛する者たちよ。あなたがたに勧める。あなたがたは、この世の旅人であり寄留者であるから、たましいに戦いをいどむ肉の欲を避けなさい。異邦人の中であって、りっぱな行いをしなさい。そうすれば、彼らは、あなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのりっぱなわざを見て、かえって、おとずれの日に神をあがめるようになる。」

神様は言います、

私は、あなたがたに、この世の異邦人、よそ者として、あなたがたの魂と戦う罪深い欲望から離れるように勧めます。異教徒（未信者、世間）の間で善良な生活を送りなさい。そうすれば、彼らがあなたがたの行いを非難しても、あなたがたの善行を見ることができ、神が私たちを訪ねて来られる日には、神をほめたたえることができるでしょう」。

IV. 変化をもたらす機会を得た人の聖書の例

テキスト

列王記下 20 章 1 節

「そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。アモツの子預言者イザヤは彼のところにきて言った、「主はこう仰せられます、『家の人に遺言をなさい。あなたは死にます。生きながらえることはできません』」。

イザヤからの召命があったとき、彼は 36 歳か 37 歳で、人生で最も良いときでした。

参照

イザヤ 38 章 9-10 節

「次の言葉はユダの王ヒゼキヤが病気になって、その病気が直った後、書きしるしたものである。わたしは言った、わたしはわが一生のまっ盛りに、去らなければならない。わたしは陰府の門に閉ざされて、わが残りの年を失わなければならない。」

人生の最盛期に突然人生が終わるとしたら、あなたならどうするでしょうか？

ヒゼキヤは祈った。

列王記下 20 章 2 節-3 節

「ヒゼキヤは顔を壁に向け、主に祈った、
主よ、私がいかに忠実に、心を尽くして、あなたの前に歩み、あなたの目にかなうことを行ってきたかを思い出してください。ヒゼキヤは激しく泣いた。
彼は、自分の生涯と生き方を神に思い起こしてくださいと願いました

列王記下 20 章 4 節-6 節

「イザヤがまだ中庭を出ないうちに主の言葉が彼に臨んだ、
「引き返して、わたしの民の君ヒゼキヤに言いなさい、『あなたの父ダビデの神、主はこう仰せられる、わたしはあなたの祈を聞き、あなたの涙を見た。見よ、わたしはあなたをいやす。三日日にはあなたは主の宮に上るであろう。かつ、わたしはあなたのよわいを十五年増す。わたしはあなたと、この町とをアッスリヤの王の手から救い、わたしの名のため、またわたしのしもべダビデのためにこの町を守るであろう』」。

神はヒゼキヤの祈りを聞き入れ、彼の寿命を 15 年延ばされました。

ヒゼキヤはしるしを求めた

列王記下 20 章 8 節-9 節

「ヒゼキヤはイザヤに言った、「主がわたしをいやされる事と、三日目にわたしが主の家に

上ることについて、どんなしるしがありましょうか」。

イザヤは言った、「主が約束されたことを行われることについては、主からこのしるしを得られるでしょう。すなわち日影が十度進むか、あるいは十度退くかです」。

神が私たちの命を延ばされる時、あるいは私たちに余命を与えてくださるとき、それはいつも目的のためです。

ヒゼキヤの苦難を聞いた人々が、遠い国からやって来た。

列王記下 20 章 12 節 「そのころ、バラダンの子であるバビロンの王メロダクバラダンは、手紙と贈り物を持たせて使節をヒゼキヤにつかわした。これはヒゼキヤが病んでいることを聞いたからである。」

神のいつくしみを証しする代わりに／彼は手に入れたすべてのものを彼らに示した

列王記下 20 章 13 節 「ヒゼキヤは彼らを喜び迎えて、宝物の蔵、金銀、香料、貴重な油および武器倉、ならびにその倉庫にあるすべての物を彼らに見せた。家にある物も、国にある物も、ヒゼキヤが彼らに見せない物は一つもなかった。」

イザヤの質問

列王記下 20 章 14-15 章

「その時、預言者イザヤはヒゼキヤ王のもとにきて言った、「あの人々は何を言いましたか。どこからきたのですか」。ヒゼキヤは言った、「彼らは遠い国から、バビロンからきたのです」。イザヤは言った、「彼らはあなたの家で何をみましたか」。ヒゼキヤは答えて言った、「わたしの家にある物を皆見ました。わたしの倉庫のうちには、わたしが彼らに見せない物はありません」。

神の評決

列王記下 20 章 16～18 節

「そこでイザヤはヒゼキヤに言った、「主の言葉を聞きなさい、『主は言われる、見よ、すべてあなたの家にある物、および、あなたの先祖たちが今日までに積みたくわえた物の、バビロンに運び去られる日が来る。何も残るものはないであろう。また、あなたの身から出るあなたの子たちも連れ去られ、バビロンの王の宮殿で宦官となるであろう』」。

**キーワード

イザヤの心

列王記下 20 章 19 節

「ヒゼキヤはイザヤに言った、「あなたが言われた主の言葉は結構です」。彼は「せめて自分が世にあるあいだ、平和と安全があれば良いことではなかろうか」と思ったからである。」

私たちの霊的相続

1 ペテロ 1 3-9

「ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しぼむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。

そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。 こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変わるであろう。

あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいけなけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。

それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。」

イエスの復活のおかげで、私たちは生きる希望によって新しい命を得ました。

イエスは、永遠の命と呼ばれる、決して滅びることのない、損なわれることのない、色あせることのない遺産を私たちに与えてくださるのです。

私たちがそれを守ることができるのは、次のような盾があるからです：

1. 神の力／デュナミス(ギリシャ語で力の意)／神の超自然的な力／能力
2. 私たちの信仰によって

1 ペテロ 1 章 6 節

「そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。」

神様は私たちに霊的成熟をもたらし、人格を成長させます。

ローマ 5 章 3 節

「それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。」

私たちがキリストと、キリストが私たちのためにしてくださったことに信仰を置くとき、私たちは喜びに満たされます。私たちは魂の救いという霊的遺産を手に入れたのです!!